

IAEA/RCA 国内シンポジウム 2019 報告書

1. 日時 :令和元年 11月 11日(月) 13:00~17:00
2. 場所 :東京大学 山上会館
3. 主催 :認定特定非営利活動法人放射線医療国際協力推進機構(IAEA/RCA 国内対応委員会事務局)
4. 共催 :外務省
5. 後援 :内閣府、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構、
一般社団法人日本原子力産業協会
5. 協賛 :株式会社千代田テクノル
6. 参加人数 : 136名
7. 司会 :藤原淑子
8. 次第 :
 1. 開会挨拶
外務大臣政務官 尾見朝子
 2. IAEA メッセージ
IAEA 技術協力局担当 事務次長 Dazhu Yang
 3. 日本外交における RCA の意義
外務省軍縮不拡散・科学部 国際原子力協力室長 松本好一郎
 4. IAEA/RCA の日本での活動歴史
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門長 中野隆史
 5. IAEA/RCA プロジェクト活動報告 IAEA/RCA 国内対応委員会委員
 - ① 医療(放射線治療)RAS6086
放射線治療
福島県立医科大学 放射線腫瘍学講座 准教授 田巻倫明
 - ② 工業(放射線加工)RAS1014
工業応用と環境保全に向けた高度グラフト材料の開発のための放射線加工
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 量子ビーム科学部門 研究企画部 次長 玉田正男
 - ③ 農業(核分析による食料安全)RAS5081
食品の安全性・信頼性に関する分析技術の開発
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門信頼性評価ユニット
主任研究員 鈴木彌生子
 - ④ 環境(地下水プロジェクト)RAS7030
同位体の目で見た地下水の世界
筑波大学 生命環境系 持続環境学分野 教授 辻村真貴
 - ⑤ 医療(核医学)RAS6083
Cancer Imaging and Therapy with Atomic Energy
大阪大学 核物理研究センター 特任教授 畑澤順
 - ⑥ 環境(越境大気汚染)RAS7029
都市部で観測される粒子状物質の大気質への影響評価のための量子ビーム技術
群馬大学大学院 理工学府 准教授 加田渉

6. ポスター発表

① RAS/6065 6085 SBRT Project

都立駒込病院放射線科部長 唐澤 克之

② アジア太平洋海域生態系における原子力施設からの放射性物質放出に対する海洋放射能モニタリングと影響評価

日本原子力研究開発機構 原子力基礎工学研究センター 環境動態研究グループリーダー小林卓也

③ 放射性同位体トレーサを用いた流砂系の土砂生産源推定

国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ 水環境保全チーム
主任研究員 水垣滋

④ ガンマ線と炭素イオンビーム照射によるイネ突然変異体の全ゲノムシーケンス解析

農研機構 次世代作物開発研究センター 放射線育種場 場長 森下敏和

⑤ 我が国における RCA 地域への非破壊検査技術者の育成とその発展の歴史

一般社団法人 日本非破壊検査協会 顧問 大岡紀一

⑥ アジア太平洋地区における中等学校 NST 教育の新たな展開と日本の役割

-Development of Modules and Tools for Improvement of Public Radiation Literacy-

東京大学 環境安全本部 教授 大学院 新領域創成科学研究科(兼担) 飯本武志

⑦ $^{226}\text{Ra}(\gamma, n)^{225}\text{Ra}$ 反応を利用した ^{225}Ac 製造の研究

東京大学大学院 工学研究科 原子力国際専攻 上坂研究室 修士課程 1 年 尾関政文

⑧ オール広島による放射線医療・被ばく者医療国際協力

放射線被曝者医療国際協力推進協議会 (HICARE) 幹事・広島大学大学院医系科学研究科
放射線腫瘍学 教授 永田靖

⑨ FNCA(アジア原子力協力フォーラム) 内閣府・文部科学省

7. パネルディスカッション

ファシリテーター: 日本科学技術ジャーナリスト会議 小出重幸

8. 閉会挨拶

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門長 中野隆史

9. 内容 :

(I) シンポジウムに先立ち尾身朝子外務大臣政務官より挨拶があった。

(II) IAEA Dazhu Yang 事務次長(技術協力局担当)からのビデオメッセージが流された(別紙資料 1 参照)。

(III) 松本国際原子力協力室長より IAEA/RCA におけるこれまでの日本の貢献について紹介するとともに、これら貢献が日本外交を支える力となっているとして、関係者及び関係機関に対し、これまでの多大なる協力に対する謝意が述べられた。

(IV) IAEA/RCA の日本での活動について中野隆史 IAEA/RCA 国内対応委員会委員長より説明された(別紙資料 2 参照)。

(V) IAEA/RCA プロジェクトの活動について、各委員より発表された(別紙資料 3-8 参照)。

(VI) 休憩時間に原子力の平和的利用と日本の国際貢献に関するポスター発表が行われた(別紙資料 9 参照)。

(VII) IAEA/RCA プロジェクトの活動について、小出重幸氏をファシリテーターとプロジェクト活動報告を行った各委員でパネルディスカッションが行われた(別紙資料 10 参照)。

(VIII) 中野委員長より閉会の挨拶があった。

以上。